

教育委員意見交換会

日 時 令和 7 年 2 月 26 日(水曜) 午前 10 時 11 分～午前 11 時 20 分

場 所 堺市役所 高層館 20 階第 1 特別会議室

出席者 関百合子教育長 鈴木真由子委員 新谷奈津子委員 長田翼委員 大内秀之委員

(事務局)櫻田浩樹教育次長

富岡重幸教育監

伊藤修士教委総務部長

西尾朋章教委総務課長

井村美穂教育センター所長

大村慶学校ICT化推進室長

坂本しのぶ能力開発課参事

居谷達矢教育政策課長 森本恭明教育政策課課長補佐 楠本奈央子教育政策課企画係長

案 件

- ・児童生徒用パソコンの更新について
- ・円滑な幼保小接続に向けた取組について(架け橋期のカリキュラムの作成)
- ・3月補正予算(令和6年度堺市一般会計補正予算)について
- ・その他、非公開案件3件あり

・児童生徒用パソコンの更新について

令和7年度に予定している児童生徒用パソコンの更新について、教員・児童生徒アンケートや学校長等への意見聴取等を踏まえ、「使いやすく慣れ親しみやすい」、「学びを止めない」を端末更新の観点とした検討状況や、今後のスケジュール等について説明。

(主な意見)

- ・ 児童生徒用パソコンの更新とあわせて、教員用パソコンも更新するのか。また、児童生徒用パソコンと教員用パソコンのOSが異なる場合、教員の指導や授業への影響にはどのようなものがあるか。
→ 教員用パソコンは来年度もリース期間中のため更新しない。また、児童生徒用と教員用のパソコンが異なるOSとなった場合でも、共通のソフトの使用等により、指導や授業への支障は生じないと考えている。
- ・ 現在の児童生徒用パソコンとの入替時期は令和8年3月を予定しているとのことだが、それまでに故障や不具合が生じた場合の代替機の調達や修理対応は十分に考えられているか。
→ 令和6年度末に各学校園の端末の現状を再度調査し、状況に応じて再配置を行う予定である。修理も随時行い、児童生徒の学習環境に支障が生じないように対応する。
- ・ 新たな端末になるからこそ、自分の端末を大切に使うことや卒業後は新入生が使うということを伝え、児童生徒にモノを大事に扱うという気持ちを持ってもらいたいと思う。
→ 端末更新の機を捉え、端末を大切に使うことや使い方のマナーを児童生徒に認識してもらえよう、学校園へ通知する。

・円滑な幼保小接続に向けた取組について(架け橋期のカリキュラムの作成)

円滑な幼保小接続に向けた本市のこれまでの取組や、令和7年度に国の動向を踏まえた新たなカリキュラムの作成を行い、地域の小学校と近隣の就学前施設が連携・協働し、校区版「架け橋期のカリキュラム」の作成を通じた取組を行うことを説明。

(主な意見)

- ・ 幼稚園や保育園、こども園と小学校との交流はとても大切なことである。教員の視察だけでなく、オンラインの活用や一緒に授業を担当する等、様々な取組を行い、今後も交流が拡大することが望ましい。また、小学校の行事に園児が参加し交流することは、こどもたちだけでなく、保護者にとっても効果を体感でき安心感があると思う。
- ・ 特別支援教育の充実という観点からも、幼保小の円滑な接続は非常に重要である。
- ・ 園児と小学生だけでなく、例えば学校群の中で中学生も含めたこども同士が交流する機会があれば、こどもたちにとって良い効果があると思う。

・3月補正予算(令和6年度堺市一般会計補正予算)について

令和7年第1回市議会に提案を予定する補正予算案について説明。

(主な意見)

- ・ AIを活用した英語教育の強化について、中学校4校で試行実施することだが、モデル校となる4校以外へのノウハウの共有や全校へ展開するための方法について、どのように考えているのか。
- まずは4校で試行実施し、効果検証を行い、全校への展開を含めた活用方法の検討を進めたいと考えている。なお、モデル校以外の学校に対しても、取組内容を共有できるよう検討する。